



よみがえる グリーンライン

～旅をするには地図が必要～



グリーンラインを愛する会
理事長 丸山 孝志

活動の範囲が広がるにつれ、様々な障害が目の前に現れ、活動が進みにくくなっていました。例えば行政との立場の違いや考え方の違いから、やって欲しい事をやってもらえないとか、やりたい事にブレーキを掛けられるという事も増えてきました。

「どうして我々の考えが理解できないのか？」
「どうしてこれ位の事すらやってくれないのか？」…
不満や苛立ちを感じる事が増えてきました。また会員同士の間でも考え方の違いが時には口論になってしまったり、活動から離れる人が出てくることになりました。前回でお話しした方の助言はそんな時に頂いたものです。

「どうして理解してくれないのか？」、「どうして協力してくれないのか？」…「どうして？」、「どうして？」…そんなストレスが重なり、目の前の事柄にばかり心を奪われて、自分で自分を追い詰めて疲れていた自分に気が付く事が出来ました。

私は、少し立ち止まって今までを振り返り、これから先の事を考えてみようと思いました。そんな時にその方が「地域カルテ」という1枚のシートと、それの作り方や使い方を教えてくださいました。

今回はその「地域カルテ」について少しご紹介をしてみようと思います。

「地域カルテ」とはお医者さんが使うカルテと同じように地域にどんな課題があって、その原因は何で、どうやってそれを解決するのかと言う解決の方針を考え、解決へ向けてすぐにできる事などを整理してゆくためのシートです。例えば「不法投棄のゴミの問題」でシートを作つてゆくとすればこうなります。

1、問題の分野

ゴミの不法投棄

2、何が問題か？

1、不法投棄のゴミの回収が進まない

2、不法投棄が後を絶たない

3、考えられる原因

A、ゴミの回収が進まない

- 1、回収に参加してくれる人手が足りない
- 2、回収したごみの搬入に関して行政の対応が非協力的
- 3、一部のゴミは人力での回収が困難

B、不法投棄が後を絶たない

- 1、捨てやすい(周りにたくさんある)

こうやって「何がどのように問題で」「その原因は何か」を整理します。そしてその原因毎に何が出来るかを考えます。この時大切なのは「今すぐできる事」からリストアップする事です。何か条件とか障害となるものがあつてすぐには取り掛かれないものはリストアップしても後回しにします。

また、周りを見回して課題の解決に力を貸してくれそうな、或いは力を貸して欲しい人や組織をリストアップします。

この場合も「頼めばすぐに動いてくれる」所から順にリストアップします。条件をクリアすれば動いてくれそうなところはその次にリストアップします。そのように具体的に文字にすることによって「まずここから始めて」「これがこうなったら次にはこれを」と言うふうに課題解決に至る道筋が見えてきます。

課題の解決には「まず最初に地図を作る」ことが大切なのです。次回からこのカルテに沿って活動した結果何がどうなったかのご報告をします。(興味がおありの方には私が使っているシートを差し上げます。)

